

マロニエ

福島市立平野中学校 学校だより No.8

文責：校長 佐藤 裕子

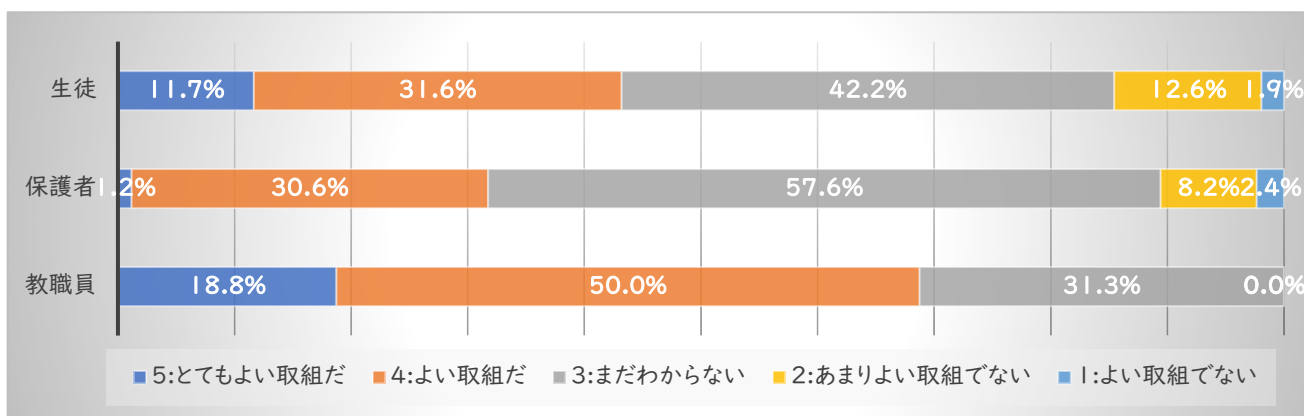


チーム担任制。[挑戦]

令和7年度4月より、本校では「チーム担任制」を導入しました。この新たな取組によって、これまで以上に生徒も教職員もこの学校で学びたい、働きたいと思える「魅力あふれる平野中学校」にしたいと考えています。

この度、制度のブラッシュアップを目指したプロジェクトチーム(教員)を立ち上げました。私たち教職員は、この平野中学校という学びの場において、子供たちに、生きることのすばらしさや仲間と語り合うことの楽しさ、夢の実現に向かって一步一步成長する喜びを感じてほしいと心から願っています。だからこそ、子供たちの成長にプラスとなる改革が必要であると考えております。今後とも、保護者や地域の皆様の応援や助言をどうぞよろしくお願いします。

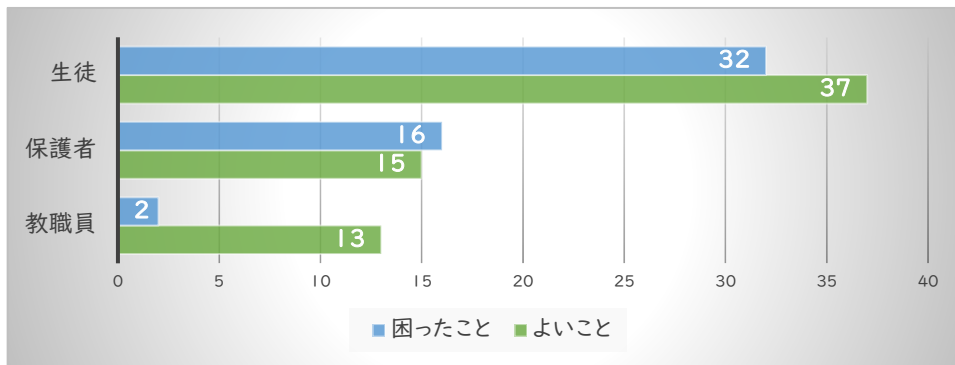
■チーム担任制に関するアンケート(6月実施)



【生徒の声】

- いろんな先生と関わりを持つことができるし、給食の雑談が楽しい。(1年)
- それぞれの先生方の考え方が分かり、身に付くものが増えました。また、別のクラスの先生方との交流も増え気軽に話せる機会が増えました。(2年)
- 教師一人一人の価値観に触れられる。また、いろいろな先生に相談ができる。(2年)
- 各クラスで担任が回ってくるのでクラスに偏りが無い。(2年)
- チーム担任制になることで、今まで授業などで見れなかった先生たちの意外な一面を見ることができるから楽しい。(3年)
- 今までとは別のクラスの担任だった先生と、休み時間に話す機会が多くなり、いろんな先生と関わりやすくなった。(3年)
- 先生方の意外な一面も少しだが知れたと思います。給食の時間が楽しいです。(3年)
- ▲ 先生ごとにルールが変わったりして何が良いのか悪いのかがわからなくなったりするので、ルールとかを統一してほしいです。(1年)
- ▲ 自分は多くの人と関わるのが得意ではないから、私は担任は1人でいいと思う。(1年)
- ▲ 苦手な先生が回ってきたりすると辛いし、何だかめんどくさい気がします。(2年)
- ▲ 教科員の連絡や準備物を聞くと、「〇〇先生が〇組にいる」と把握するのが分かりにくい。(2年)
- ▲ 先生の価値観が変わることで、A先生はいいって言っていたのにB先生はだめと言うことがある。(3年)
- ▲ チーム担任制で先生が変わる曜日を木曜から月曜にしてください。(3年)
- ◆ 学校全体の先生の入替えとかあっても良さそう。(2年)

■チーム担任制で「困ったこと」「よいこと」



【保護者の声】

- 現代は考え方や感じ方、表現の仕方など、年齢、性別関係なく多種多様になってきているので、チーム担任制の取り組みは良いことだと思います。先生方の負担もチーム担任制導入により少しでも軽減すればなあと思います。ただ、これまで親も子どもたちも担任一人体制だったので慣れるまでは戸惑う人もいると思うので、そこらへんのケアというかフォローはしていただけたらと思います。新しい取り組みを入れること、素敵だと思います。(1年)
- いろいろな先生と関わることで気分が変えられたり、いい刺激になっているようだ。(1年)
- 親としては、新しい取組みをどんどんしていただきたいと思う。相談しやすい先生に、という体制もすごく良いと思う。(1年)
- 担任が複数いることで、大人も人それぞれ個性があることを認識してもらい、いい所も悪い所も踏まえて対応出来る能力が身につくのではないかと考える。(1年)
- 学年主任の先生との関わりが持てて良かったと言っています。(1年)
- 色々な先生のいいところが分かる。イメージや先入観でみていた先生の実はこの先生だったと前向きな意味で分かる事ができる。同じ性別の先生にしか相談できないデリケートな事も相談しやすくなるかもしれないと思います。(2年)
- 色々な先生のやり方を経験することで、それぞれの先生の良さなどを感じているようです。(2年)
- 娘は色々な先生に親しみをもちつつ、担任が変わった週に多少戸惑う様子が見られています。しかし、沢山の人の自分の気持ちを出すことは思春期には必要なことだと思うので、親として見守ろうと思っています。また、チーム担任制の導入により、先生方の負担が軽減されるのであれば尚更良いと思います。新しい取組を進めるのには様々な意見があるとは思いますが、今の時代に合った教育をどんどん取り入れて頂ければと思っています。(2年)
- 子供から聞いた話では、担任以外の先生と話す時間が増えたり、給食の時間にいろいろな先生と話しが出来るようになったようです。先生方とコミュニケーションが取れていると困った時に子供が話しやすい先生に相談できるのかなあとと思います。(2年)
- 担任の先生は、一人の先生だけ。という概念は軽減され、色々な先生との関わりを持てる事で、考え方の幅が広がった気がする。普段の生活においても、多感な中学生という難しい時期の子供たちには、多くの先生と関われるという事は、人との関わり的重要性も学べると思う。(3年)
- 新しい取組で良いと思います。先生によって色々な考えがあることを学ぶ機会はいいですね。社会人になったら上司は選べないので適応能力がつくと思います。(3年)
- このアンケートをきっかけに息子に聞くと「やり方が変わるから疲れるが、色々な先生とかかわれるのがよい」と話していました。お子さんによっては良い悪い等あると思いますが、新しいことにチャレンジする先生方、子ども達に頭が下がります。保護者としては、色々な先生からみていただけるのはよいことだと思いますし、子どもにとっても色々な先生と関わる事ができるのは視野や考え方が広がりのよいことだと思います。(3年)
- ▲今までの1人の担任の先生ではなく複数の先生がいることで、誰に相談していいのかわからない不安になることがあります。チームで生徒一人一人を把握しているとは思いますが、正直不安です。私は一番最初に相談させて頂いた先生に相談する形になっています。(その日が担任でなくても)まだ始まったばかりなので、私もチーム担任性が良い・悪い、続けて欲しいと言う答えを出せるまでには至っておりません。(1年)
- ▲担任は固定で良いのでは？チーム担任制のメリットが今のところ感じられない。(1年)
- ▲学年の先生がチームで関わってくれることにはメリットがあることは分かります。その一方で、これまでの担任制と同じくらい、子どものことを把握してもらえているのか不安もあります。
・担任制であれば1学級分の生徒理解でよかったものが、学年全部を担当と同じ程度に把握・指導できるのか？

- ・一生懸命にやろうとしてくださる先生ほど業務負担が大きくなっているのでは？
- ・各クラスに担任として入った時の情報をチームで共有するために、先生方の時間確保がされているのか？

など、疑問は多いです。生徒、家庭、教員の全てにとってメリットの大きい取組になればと思います。(2年)

▲進んで取り組むようなものではないと思う。目的が分からない。一人の担任ですら子どもたち一人ひとりに向き合えないのに、何人も周期で変わったとしても子どもたちが混乱するだけだと思う。(2年)

▲持ち上がりの先生も少なく、来たばかりの先生も多いのに、ローテーションで変わるのとお互い分かりにくいのではないと思う。教師皆で見れると言うが、教科で習っているのだから相談出来るのでは。受験生なのに落ち着かないと言っている。まずは1、2年生から試してほしい。(3年)

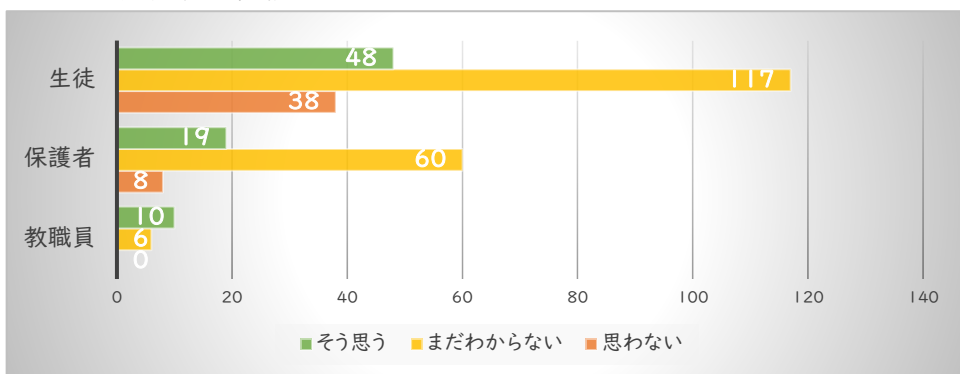
▲まだ、初めての取り組みなので、戸惑いが強いです。また、受験の年に新しい取り組みは避けて欲しかったかな?とは思いました。それと、もう少し保護者への周知を早めにして欲しかったです。(3年)

▲3年生で受験生なので、チーム担任制という新しい取り組みの中で、進路指導などきちんと一人一人に対応して頂けるのか、とても心配です。(3年)

▲教員間の連携強化が期待できるのかもしれないが、保護者からすれば、責任の所在が不明確で、相談することすら躊躇う。(3年)

◆担任の先生が、1週間ごとに変わったりそうでなかったりと、よくわからないことがあります。どの先生に相談したら良いのか…など。ですが、いろいろな先生が受け持ってくださいすることで、授業以外でも接する機会が増えて新鮮な感じがすると思います。三者面談なども話してみたい先生と面談できる機会が持てるので、ありがたいと思います。まだ導入されたばかりなので、メリット、デメリットを見守っていこうと思います。(2年)

■チーム担任制の継続について

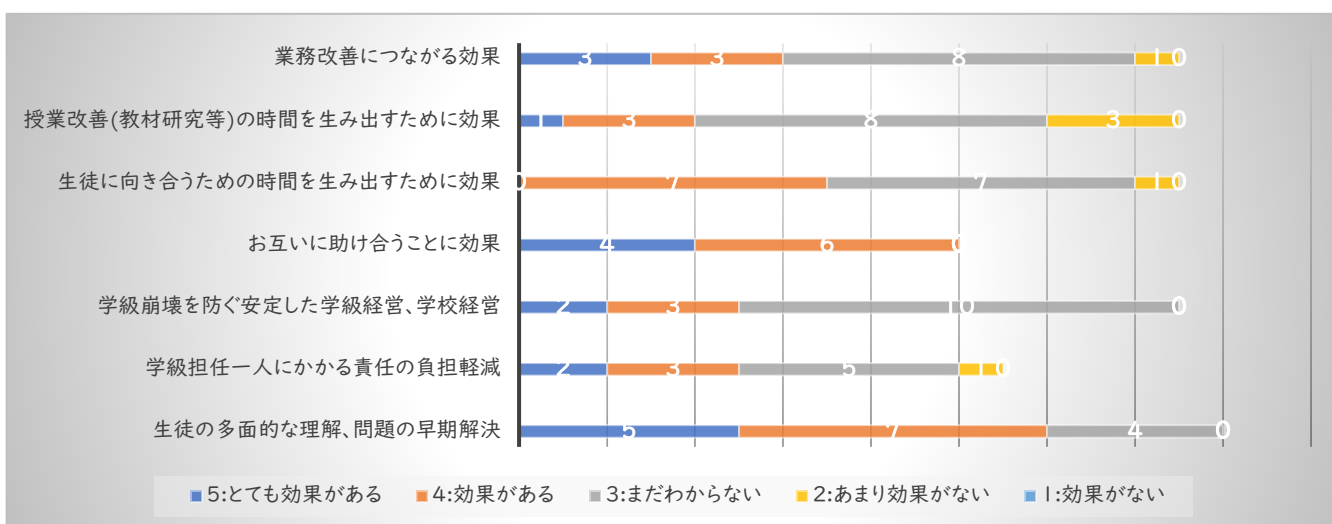


今回のアンケートで、チーム担任制のデメリットや不安な点も挙げられました。

- ①生徒や保護者から見ると、誰が担任なのか(相談相手)がはっきりしない点
- ②教職員や生徒、保護者が仕組みに慣れるまで時間がかかる点
- ③進路指導への不安

これらを含めて、プロジェクトチームを中心に、ブラッシュアップに向けた話し合いを重ねてまいります。

■教職員対象のアンケートから(6月実施)



【教職員の声】

- 以前にも増して学年内での生徒に関する情報交換を行う必要があるため、学年全教員で話し合うことが増えた。そのことが学年経営にプラスになっていると感じています。また、教員間では経験の違いがありますが、チーム担任制にすることで互いのよいところを発揮できていると思います。(1年)
- 学年全体に同じような姿勢で声をかけたり、指導したりすることができること。(1年)
- よいことかどうかはわからないが、生徒が「次は〇〇先生だ。」など、先生が変わることを期待している様子が見られる。(1年)
- 苦手だと感じる先生との距離が取れることで、先生に対してのプラスの思いも生まれてくる。(2年)
- 情報交換が大切になるため、今まで以上に生徒観察をしっかり行おうと意識して仕事に取り組んでいる。また、今まで担任以外のクラスは授業での姿しか見れなかったが、HR 担当になるとより多くの場面で生徒と接するため、いろいろな姿を見とることができている。(2年)
- ほかの学級との比較ができる。(2年)
- 自分の学級以外の生徒の様子が、これまでよりも身近に感じるようになってきているように感じます。(3年)
- 朝の時間など、役割分担の明確化により時間を効率よく使えるようになった。バタバタしない。(3年)
- 生徒が楽しんでいる。普段自分からは話せないような生徒も、親しみを感じる教師が担任に来ると、とても安心感を感じて学級にいられたようだった。(3年)
- 生徒の様子を授業内だけでなく部分も、深く知ることができる。(3年)
- 生徒が楽しみにしている様子がある。先生も生徒も全員とうまくいくわけではないので複数で学年をみる考え方が定着すれば今後もっと効果が上がると思う。(4年)
- CA 担任が不在の場合でも、保護者からの連絡対応や遅刻生徒への対応がスムーズになった。(4年)
- ▲CA 担任、HR 担任に伝える内容が整理できず、CA 担任に伝えるとよいことを HR 担任に伝えたり、その逆があったりします。(1年)
- ▲学年で統一していることが微妙にずれてきて、指導するときに遠慮してしまうことがあります。(1年)
- ▲担任制ならば生徒にすぐ回答できることでも、打ち合わせをしてからでないと答えることができないことがある。(1年)
- ▲HR 担任ではないときもこれまで副担任が行ってきた仕事はありますし、今年度初めてチーム担任制を実施しているということもあり、約一ヶ月ごとに回ってくるその仕事を十分に理解して行うことに時間がかかったと感じています。まだ開始して3ヶ月未満ですので継続し、さらに良い面、改善点等が明らかになればよいと思います。(1年)
- ▲同じ学年の先生と連携を取れて助かる。チームワークが良いといいので、メンバーが大切だと思います。数週間で変わるため、クラスの子の様子が変わり慣れてきた頃クラスが変わり、落ち着かなくせわしく感じました。週ごとか月ごとがいいのかも検討。先生のカラーをどこまで出せるのか模索しています。(1年)
- ▲担任業務のさらなる改革が必要だと思う。空き時間に毎日生徒のノートと向き合う先生方を見ているとなかなか変えるのが難しい。チーム担任制で担任業務を分け合って少しでも負担感が和らぐ先生が増えて欲しい。(4年)

【校長から】

平野中の先生方は日々、本当に熱心に教育活動にあたってくださっています。素直な子供たちと素敵な時間を重ねています。しかし、全国的な話題にもなっているとおり、「教職員の働き方改革」も喫緊の課題であることは間違いありません。先生が朝から12時間以上の勤務を普通に行ってきたこれまでのやり方には限界が来ています。サラリーマン先生などと揶揄されるような先生は、本校にはおりませんが、教員としての労働時間は「8:00～16:30」であります。子供の前に立つ先生自身が仕事へのやりがいを感じ、かつ教員としてのスキルアップにつながる余白の時間も持ってこそ、笑顔で子供たちの前に立つことができるものと考えています。

このチーム担任制のねらいは、「子供たちの自律心を育てること」「多様な支援を実現すること」「生徒の安心感を高めること」「教員の意欲を上げること」「指導の均等化を図ること」です。校長としては、「担任との不具合を理由とする不登校は出さない」「固定担任のアンテナの低さによるいじめの見逃しは避けたい」との思いもあります。今後とも保護者の皆様のご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いします。

保護者の皆様、この度のアンケートへのご協力、ありがとうございました。
(第2回アンケートは11月に予定しております。)

